

日本めまい平衡医学会認定 教育Webinar EquiLAB (Equilibrium Learning & Broadcasting)

第3回「エキスパートに聞く良性発作性頭位めまい症(BPPV)の疑問」

対象

医療関係者どなたでも

参加費

無料(先着500名)

*テーマおよび日程は変更になる場合がございます

お申込みはこちら

URL <https://forms.gle/kf2kkjDx3beg5tjP8>

定員に達しましたら締め切らせていただきます



日時

2026.11.19(木) 19:00~20:30

一般的に良性発作性頭位めまい症(BPPV)はめまい疾患の中では、最も診断は容易と考えられている。つまり、問診で体位や頭位を変換したときに回転性めまいの訴えを聴取して、頭位・頭位変換眼振検査で方向交代性眼振を認めれば診断がつくからである。しかし実際には、そんなに単純ではない。耳石が迷入したのがどの半規管なのか？耳石は半規管内にあるのか？クブラに付着しているのか？などにより眼振の向きや潜時、持続時間が変わるからである。また、頭位性めまいを訴えて来院しても方向交代性眼振を認めない症例も度々経験する。今回はBPPVのメカニズム、見落とさないための検査のコツ、耳石置換法のやり方を説明した後に様々な疑問にもお答えしたい。

第1回「さらば、めまいアレルギー」、第2回「眼振なんてこわくない！」に続く第3回のテーマは、「良性発作性頭位めまい症(BPPV)」です。BPPVはめまいの中で最も頻度が高いので、疾患別の最初のテーマに選びました。奮って質問してください。

大塚 康司 先生

登壇者

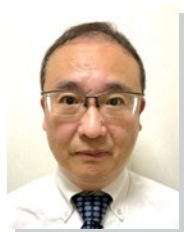


おがわ やすお

小川 恭生 先生

東京医科大学八王子医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授

外側半規管型 BPPV は、特徴的な方向交代性眼振を示す一方、患側の決定や病態の判断、耳石置換法の選択に迷うことも少なくありません。本ウェビナーでは、眼振の見方から患側の決め方、病態に応じた耳石置換法まで、実際の症例を交えてわかりやすく解説します。外側半規管型 BPPV を少しでも身近に感じていただければ幸いです。



いまい たかお

今井 貴夫 先生

ベルランド総合病院 耳手術・めまい難聴センター センター長

良性発作性頭位めまい症(BPPV)は、「良性」の名称や特徴的な頭位眼振、さらにエプリー法の簡便さから、診断・治療が容易な疾患と考えられがちである。しかし実際には、眼振の観察が困難な症例や再発例も少なく、必ずしも容易に診療できる疾患ではない。近年、Michael Strupp らは「Benign」という表現は適切でないとして、BPPV を PPPV へ改称することを提唱している。本ウェビナーでは診断や治療に難渋する症例を提示し、その対処法について解説する。明日からの診療に役立つ実践的な知識を共有することで、BPPV 診療を少しでも楽しく感じていただける機会になれば幸いです。

Faculty



おおつか こうじ

大塚 康司 先生

山王病院 耳鼻咽喉科 部長 /
国際医療福祉大学
臨床医学研究センター 教授

Program

内容	発表者	時間
オープニング	堀井理事長	5分
司会進行	大塚先生	60分
タイトル1	小川先生	
タイトル2	今井先生	
Q&A、ディスカッション、クロージング	—	30分
次回告知	塚田先生	